

政策名	5安全な港	責任者	港営部 港湾管理事務所長	連携担当課
基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上			
個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する			
事務事業名	06臨港道路の維持管理	連絡先	052-398-0503	(企画調整室)事業担当 (建設部)工事課、港湾工事事務所

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	臨港道路を良好に維持することにより、通行車両の安全かつ快適な走行を確保します。	事業期間	昭和26年度～継続
概要	臨港道路を巡視することにより、損傷した箇所があれば速やかに応急措置を行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・巡視、点検、損傷箇所の補修、街路樹剪定、暴走族追放対策(暴走行為の多い地区にて実施)								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
補修箇所	単位	目標	-	-	-	-	-	-	
	箇所	実績	87	75	73	81			
巡視日数	単位	目標	245	243	242	243	244	開庁日数	目標は開庁日数 実績は巡視日数
	日	実績	232	230	233	232			
事業費	千円	6,084	5,817	6,840	6,200	5,800			
人員	正規職員	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80		
	嘱託職員	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
人件費相当額	千円	14,742	14,742	15,284	15,449	15,222			
事業費・人件費の合計	千円	20,826	20,559	22,124	21,649	21,022			

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
道路損傷等に起因する事故件数	単位	目標	0	0	0	0	0	0		
	件	実績	1	1	3	1				
	達成度○/×	×	×	×	×					
	単位	目標								
		実績								
	達成率(%)									
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項		
必要性	組合関与の必要性	有・ <input type="radio"/> 無						工事が応急措置業務、緊急工事、単独又は補助工事と段階的な構造となっているほか、財産管理と維持管理が複数部署にまたがるなど、業務が非常に煩雑化しています。これら課題を解決するためにも、苦情・陳情を完結できるシステムづくりが必要となっています。		
	目的・水準の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無								
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input type="radio"/> 無						・事務事業の実施内容を見直すことで、さらなる成果の向上が期待できます。		
	成果の達成度	有・ <input type="radio"/> 無								
効率性	内容の妥当性	<input checked="" type="radio"/> 有・無						・道路巡視に連携して損傷箇所や事故につながりそうな危険箇所が発見後にすぐに補修できます。		
	実施主体の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無								
	受益者負担の適正性	有・ <input type="radio"/> 無								
	経済性	有・ <input type="radio"/> 無								

### 4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			

次のような業務を一括して行う組織づくりに向けて、調整を図っていきます。

①本組合が所管する道路、橋りょう及び附帯施設(以下「道路等」という。)の維持管理②維持管理を行ううえで必要な工事及び応急処置業務③道路等に係る施設の点検、巡視、一般職員・住民等からの通報の受理④道路等及びこれらの附属物の維持補修